

JRひがし労仙台 業務部情報

2019年11月3日

NO, 025

JR東労働組合
仙台地本業務部
発行責任者：横山裕介

申15号2018年度冬期問題等に関する申し入れについて⑥

【新庄運転区】

【第16項】陸羽西線・陸羽東線では始発列車がそれぞれ各CTCに降雪・積雪量などの情報を報告する決まりとなっている。しかし、期間が冬期とだけになっており明確な日付がなくCTCでも対応がまちまちである。支社が定めた列車、停車駅での降雪・積雪量の情報提供は期間を明確に周知すること。

《回答》 雪害対策マニュアルに則り取り扱うこととなる。

《組合》	《会社》
<input type="checkbox"/> 期間がまちまちであるため、しっかり報告できる体制を構築していくべき。	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルだと12/1~3/31。初列車は古口で報告、最上で報告。日付が現場で周知されていないのであれば、再周知していく。

【第17項】古口駅と最上駅に雪抱き込みによる運転不能を防止するための融雪装置マットを設置すること。

《回答》 現行の設備で対応することとなる。

《組合》	《会社》
<input type="checkbox"/> 古口駅と最上駅に融雪装置マットを設置すること。予算の状況も含めて現在計画している箇所はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 今年設置する駅は米沢駅（上3）となる。予算と相談しながら優先順位をつけて、輸送障害がないように計画し、設置しているところである。
<input type="checkbox"/> 古口駅と最上駅は除雪困難箇所何度でも列車が停止してしまっている現実で、会社も大雪が降っていると認識一致ができています。早急に対応を求めます。	<input checked="" type="checkbox"/> マットの他に線路の中で除雪する要員を確保して対応している。古口駅と最上駅は仙台支社の中で一番要員を確保している。雪の量で言うと新庄駅くらい設置しないと厳しい。列車本数と利用人数からすると優先順位的には他の駅となってしまっている。カメラを駅待合室やホームに設置し、案内強化に努めていく。